

特別展 花わら咲い、風の吹くらん

2024年4月13日(土)～6月2日(日)

主催：徳川美術館

咲き誇る花、花を散らす風や雨、皓々と照る秋の月、降りしきる冬の雪など、自然がみせる美しい風物。移りゆく自然の美しさに惹かれた人々は、これらに心を寄せて詩歌に詠み、自らの心情を投影してきました。また絵画に描きあrawし、工芸品を彩る要素としても、日本のみならず東洋の美的生活を支える基盤となってきました。

雪月花をはじめ、風や雨など変化に富んだ自然現象に注目して、古典文学や絵画・工芸にみられる風雅の世界を紹介します。

- 都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 指定欄の「◎」は国宝です。
- 展示替欄に記載のないものは、全期間展示します。
前期:4/13～5/12
後期:5/14～6/2
- 所蔵欄の「蓬左」は名古屋市蓬左文庫、無印は全て徳川美術館所蔵です。

展示リスト (案)

No.	指定	作品名・作者	所有者・伝来など	時代・世紀	展示替・所蔵
1		いろは手本 近衛信尹筆		桃山-江戸 16-17	
花、咲う					
2		老梅蒔絵書物箱		江戸 17	
3		籬梅蒔絵手箱		室町 16	
4	◎	胡蝶蒔絵枕香炉	霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸 寛永16年<1639>	
5		吉野図屏風 二曲一双 狩野常信筆	徳川齊温(尾張家11代)所用	江戸 17	前期:右隻 後期:左隻
6		西行物語絵巻(海田采女本 模本) 六巻の内 巻春 詞書 伏原宣條筆・絵 甘露寺規長・篤長筆		江戸 安永4年<1775>	
7		古今和歌集 伝冷泉為之筆		室町 15	
8		蠟色散り桜銀金貝大小刀鞘 一对		江戸 19	
9		流水に桜図透赤銅鐺 銘 大岡政次(花押) 大岡政次		江戸 17	
10		波に桜図鉄鐺 銘 長州萩住知賢作		江戸 19	
11		花筏図赤銅鐺		江戸 17	
12		今様花鳥風月 大判錦絵(三枚続) 溪斎英泉画		江戸 天保期<1830-44>	
13		牡丹図屏風 八曲一双		江戸 17	
雨、降る					
14		和漢朗詠集 二巻の内 上巻 後二条天皇筆		鎌倉 14	個人蔵
15		雨中嵐山図 田中訥言筆		江戸 19	個人蔵
16		雨中嵐山図 田中訥言筆		江戸 19	
17		香木 伽羅 銘 春雨		東南アジア	
18		香木 寸門陀羅 銘 小雨		東南アジア	
19		香木 羅国 銘 夜の雨		東南アジア	
20		香木 真南蛮 銘 初時雨		東南アジア	
21		香木 真那賀 銘 村時雨		東南アジア	
22		香木 伽羅 銘 木の葉雨 中院通村命銘		東南アジア	

23	昇龍図 三幅対の内 伝狩野探幽筆		江戸 19	前期
24	雲龍図 三幅対の内 狩野山雪筆 吉田友昭氏寄贈		江戸 17	後期
25	唐物茶壺 銘 夕立 大名物	徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用	南宋-元 13-14	
26	古薩摩茶壺 銘 初時雨		桃山 17	
27	古瀬戸茶壺 銘 夕時雨		江戸 19	
28	紅葉時雨之図(戸山庭園餘慶堂奉侍時席画) 二幅対 狩野典信筆		江戸 天明4年<1784>	
29	萌黄地稲穂に稲妻文金欄半切		江戸 18	
星、光る				
30	端溪北斗七星硯		北宋 12-13	
31	油滴天目(星建盞)		南宋 12-13	
32	七夕蒔絵手箱		室町 15	
33	鞍馬山僧正ヶ谷之図 大判錦絵(三枚続) 佐野屋喜兵衛板 歌川貞秀画		江戸 19	
風、吹く				
34	花鳥図簾屏風 果樹文存星格狭間 六曲一双の内		明治19年<1886>	
35	古今和歌集 伝二条為氏筆	浄光院従君(5代将軍綱吉正室)遺品・ 徳川吉通(尾張家4代)拝領	鎌倉 13	
36	源氏物語絵 巻宿木(三) 詞書第一紙 現状模写(東京藝術大学本) 上野直美筆 上野直美氏 寄贈		平成22年<2010>	
37	源氏物語絵巻 宿木(三) 絵 現状模写(東京藝術大学本) 上野直美筆 上野直美氏 寄贈		平成22年<2010>	
38	西行物語絵巻(海田采女本 模本) 六巻の内 巻秋 詞書 伏原宣條筆・絵 甘露寺規長・篤長筆		江戸 安永4年<1775>	
39	和漢朗詠集抄 伝伏見天皇筆		鎌倉 13-14	
40	墨竹図 二幅対の内		明 15-16	前期
41	風竹図 三幅対の内 狩野山雪筆 吉田友昭氏寄贈		江戸 17	後期
月、照る				
42	五字一行書「明月来相照」徳川宗春(尾張家7代)筆		江戸 18	
43	有明の月画賛 徳川斉昭(水戸家9代)筆・同賛		江戸 19	
44	唐草文箔絵月に兔図染付入硯屏		明16-17	
45	黎溪月兔硯(裏面)		明16-17	
46	端溪雲月彫硯 銘 月ノ硯			
47	木地松に月図硯箱 徳川光友(尾張家2代)筆	松平義真(梁川松平家3代)所持	江戸 17	
48	竹林残月図屏風 六曲一隻 田中訥言筆		江戸 19	個人蔵
49	月に竹図屏風 二曲一隻 渡辺清筆 吉田友昭氏寄贈		江戸 19	
50	源氏物語絵巻 橋姫 詞書一・二 現状模写(東京藝術大学本) 前田力筆 前田力氏寄贈		平成18年<2006>	
51	源氏物語絵巻 橋姫 絵 現状模写(東京藝術大学本) 龍口経太筆 龍口経太氏 寄贈		平成17年<2005>	
52	武蔵野蒔絵貝桶 一对		江戸 17	

53	赤銅月透銀印籠		江戸	19	
54	月に秋草図 鳥居清忠筆 徳川家寄贈		明治-大正	19-20	
55	月に薄図 岡村葵園筆 徳川家寄贈		明治-昭和	19-20	
56	安政二年当座和歌		江戸	安政2年<1855>	

秋草そよぎ、紅葉染まる

57	秋の野蒔絵手箱	徳川光友(尾張家2代)所用	鎌倉	13-14	
58	秋野図屏風 六曲一双の内		江戸	18-19	個人蔵
59	紅白段檜垣に秋草文唐織(子方用)		江戸	18	
60	白地秋の野文唐織(子方用)		江戸	17	
61	白地青海波に紅葉文縫箔		江戸	18	
62	白地落葉に紅葉折枝文縫箔		江戸	18	
63	波に紅葉図透鉄鐔 銘 武州住守恒		江戸	18	
64	色鍋島竜田川図皿		江戸	18	個人蔵
65	萱に露図透鉄鐔		江戸	19	
66	籬に菊蒔絵手箱		桃山-江戸	16-17	
67	菊の白露蒔絵小箱 四合	清泰院大姫(加賀前田家4代光高正室)所用	江戸	寛永10年<1633>	

雪、積もり、やがて消えゆく

68	詠草「雪を詠める」 松平楽翁(定信・白河松平家3代)筆		江戸	19	
69	雪梅図 三幅対の内 狩野山雪筆 吉田友昭氏寄贈		江戸	17	後期
70	雪に牡丹図 二幅対 神谷晴真筆		江戸	19	個人蔵
71	雪中鴛鴦図 岡本柳南筆 岡本柳英氏寄贈		明治32年<1899>		前期
72	銀雪松水滴		江戸	19	
73	篠雪図三所物 無銘 筭 宗乗(後藤家2代)作 目貫・小柄 顕乗(後藤家7代)作		桃山	16	
74	鶏雪柑子図三所物		江戸	18-19	
75	雪紋透鉄鐔	徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	17	
76	雪花図説 水野正信著「青牘叢書」 卷八十二所収 百四冊の内 土井利位著		江戸	19	蓬左
77	薄水色麻地雪輪に柳橋・苺萱文浴衣	徳川家康(駿府御分物)着用	江戸	17	前期
78	薄水色麻地雪輪に柳橋・苺萱文浴衣(復元) 染色:松木真澄氏 縫製:森大三江氏		平成10年<1998>		前期
79	赤地震に雪持松紅葉文唐織		江戸	19	後期
80	木瓜紋散蒔絵手箱		室町	15-16	
81	志野山水文茶碗 銘 残雪 木下家寄贈		江戸	17	
82	和漢朗詠集 二巻の内 下巻 伝冷泉持為筆		室町	15	